



＝ 発行 ＝
秋田県生涯学習センター
〒010-0955秋田市山王中島町1-1
TEL :018-865-1171
FAX :018-824-1799
E-mail :sgcen002@mail2.pref.akita.jp
編集：社会教育アドバイザー

行動人連携学習プログラム開発事業「ふるさと再生を考える研修会」

**昔から伝わる行事・文化の継承
いま、私たちができること
～みんなで考え学ぶ会～**

平成25年12月6日、「ふるさとの再生に向けて～伝統文化の発展・継承について学ぶ～」をテーマに、羽後町元西総合センター（元西公民館）において研修講座が開催されました。

当日は羽後町の堀回（ほりまわり）地区コミュニティ推進委員会の皆さんをはじめとして、地域の方々28名と当センター職員4名が参加しました。

地域に古くから伝わる文化は、住民の協力、協同を支え、活力を育ててきましたが、急速に進む過疎化によって伝承が困難な状況になっています。そこで、この状況をどのように乗り越えるか先進事例等を学ぶことにより、発展の方策を探る研修講座を企画しました。

「昔から伝わる行事・文化の継承について」と題して、NPO法人あきたNPOコアセンター理事の吉田理紗さんは、「土崎港曳山まつり」（秋田市）、「落合漫芸一座」（五城目町）、「竹浦獅子振り保存会」（宮城県女川町）の事例をもとにお話しされました。豊かな経験に裏打ちされた内容であり、参加者の共感を呼ぶものでした。

また、「伝統芸能を継承する次世代の声を聞いてみよう」というトークに応えてくれたのは、県立羽後高等学校郷土芸能部2年の伊藤歩さんです。郷土芸能の担い手としての意識の高さに感心させられました。

年が明けて、1月19日、堀回地区コミュニティ推進委員会及び雪中綱引き実行委員会の主催のもと、羽後町元西総合センター前で園児から老人クラブに至るまでそれぞれがチームをつくり、降りしきる雪の中、「第2回雪中綱引き合戦」が行われました。合戦後は県立羽後高等学校郷土芸能部の「仙道番楽」や保存会による「元城獅子舞」も披露されました。

地域住民の絆が深まり、地域を元気にするよい機会となりました。



講師のNPO法人あきたNPOコアセンター理事 吉田 理紗 さん



県立羽後高等学校郷土芸能部 伊藤 歩 さん



熱気に包まれた綱引き合戦



県立羽後高等学校郷土芸能部
「仙道番楽」

玄関ホール展示

県生涯学習センターの玄関ホールの展示を紹介します。

ケアポート かたりべ・くらぶ 利用者様作品展



平成25年12月3日(火)～平成26年1月8日(水)の期間、ケアポートかたりべ・くらぶの利用者の方々の作品が多数展示されました。

春先から構想を練った力作をはじめ、利用者一人ひとりのペースで制作された作品展でした。

レクリエーションの一環で創作活動を行っており、指先を使うのでリハビリにつながることや出品する意欲が日々の励みになること、作品の完成を通して達成感が得られることなどの効用もあげられます。

「思いが込められている」「心がなごみ、ほっとするひととき」「感動した」という感想が多数寄せられました。



有限会社ケアポート秋田様から、当センターに車椅子1台をご寄贈いただきました。正面玄関入り口にこれまでの1台と合わせて2台置いております。ご活用ください。

シープニット展



1月9日(木)～3月6日(木)までの期間、「シープニット展」が開催されております。

約20年、編み物の指導をされている若林優子さん主宰の「編み物サークル・シープ」の作品が展示されています。若林さんに編み物の魅力を探ねると、「1本の糸で作品ができあがる」ところだそうです。機械編み、棒針編み、カギ針編みなど合わせて約80点の作品が展示されています。素材の魅力や多彩な模様編み、デザインなどを通してニットの温かみや優しさが伝わってきます。

